

UDC 621.315.626.027.5

C 3824

JIS

高圧がい管

Ⓢ JIS C 3824-1992

平成 4 年 11 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

電気材料部会 がいし専門委員会 構成表 (昭和50年1月1日改正のとき)

	氏名	所属
(委員長)	巽 良知	社団法人電気学会
	中 島 忠 好	横浜国立大学工学部
	鈴 木 玄八郎	通商産業省生活産業局
	児 玉 勝 臣	資源エネルギー庁公益事業部
	宮 沢 和 夫	工業技術院標準部
	加 藤 勲	電磁器協会
	新 宮 行 太	朝日碍子工業株式会社
	中 島 鎌 一	愛知県陶磁器工業組合
	百 田 弥之助	株式会社香蘭社碍子工業
	藤 村 哲 夫	日本碍子株式会社技術部
	松 岡 志 郎	会津碍子株式会社
	三 田 保 三	大ト一株式会社佐野工場
	石 井 豊 章	東京電力株式会社工務部
	伊 藤 元 三	中部電力株式会社東京支社
	津 田 宏	関西電力株式会社工務部
	平 田 康 夫	三菱電機株式会社伊丹製作所
	宮 崎 邦 夫	日本国有鉄道電気局
	村 野 稔	東京芝浦電気株式会社電機技術研究所
	山 田 信 義	社団法人日本電機工業会
(事務局)	武 笠 二 郎	工業技術院標準部電気規格課
	花 里 健 一	工業技術院標準部電気規格課
(事務局)	田 島 政 男	工業技術院標準部電気規格課 (昭和56年3月1日改正のとき)
	吉 川 明 雄	工業技術院標準部電気規格課 (昭和56年3月1日改正のとき)
(事務局)	坂 本 満	工業技術院標準部電気規格課 (平成4年11月1日改正のとき)
	齋 藤 充	工業技術院標準部電気規格課 (平成4年11月1日改正のとき)

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和29.9.18 改正：平成4.11.1

官 報 公 示：平成4.11.10

原案作成協力者：日本電磁器協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 電気部会 (部会長 増田 閃一)

審議専門委員会：がいし専門委員会 (委員長 巽 良知) (昭和50年1月1日改正のとき)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部電気規格課 (〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1) へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。



高圧がい管

C 3824-1992

High-voltage porcelain tubes

1. 適用範囲 この規格は、主として建築物の電線が貫通する箇所に用いる磁器製の高圧がい管（以下、がい管という。）について規定する。

備考 この規格の引用規格を、次に示す。

JIS C 3801 がいし試験方法

2. 種類 がい管の種類は、その形状によって次のとおりとする。

- 325 高圧引込がい管
- 425 高圧引込がい管
- 525 高圧引込がい管
- 340 高圧引込がい管
- 440 高圧引込がい管
- 540 高圧引込がい管
- 225 高圧屋内がい管
- 325 高圧屋内がい管
- 240 高圧屋内がい管
- 340 高圧屋内がい管

備考 数字は、次の意味を表す。

初めの1けたは、付図1及び付図2の L_1 寸法の最初の数字、後の2けたは付図1及び付図2の D_1 寸法。

3. 性能 性能は、7.に規定する方法によって試験を行ったとき、表1のとおりとする。

表1 性能

項目	性能	
	高圧引込がい管	高圧屋内がい管
商用周波乾燥耐電圧	—	30 kVの電圧で破壊放電を生じないこと。
商用周波注水耐電圧	20 kVの電圧で破壊放電を生じないこと。	—
雷インパルス耐電圧	60 kVの電圧で破壊放電を生じないこと。	60 kVの電圧で破壊放電を生じないこと。
商用周波油中破壊電圧	70 kVの電圧で貫通しないこと。	70 kVの電圧で貫通しないこと。
冷熱	温度差70℃以上、冷水温度0～20℃、浸し時間はそれぞれ10分間で、がい管の各部に異常を認めないこと。	温度差70℃以上、冷水温度0～20℃、浸し時間はそれぞれ10分間で、がい管の各部に異常を認めないこと。
吸湿性	磁器内部に液がしみ込まないこと。	磁器内部に液がしみ込まないこと。
商用周波電圧	40 kVの電圧で、がい管の各部に異常を認めないこと。	25 kVの電圧で、がい管の各部に異常を認めないこと。